

看護闘争ニュース

NO. 127

2008年 1月18日

通常国会で「護国法」の改正を!



通常国会が、1月 日より開会されました。私たちは、第 166 通常国会で「安全・安心医療と看護の実現を求める国会請願」を採択させることができました。今通常国会では、「看護国会」と呼ばれるような、賛同いただいた国会議員が次々と看護問題で国会質問を行い、「看護職員確保法」の見直しを政府に答弁させながら、ただちに見直しに着手させていくことをめざします。

各地の奮闘で、新增員署名は 27 万筆を越え、国会議員の賛同は 111 名、自治体決議もすべての自治体で決議が上がった県、あと 1 自治体を残すのみという県など、大きな社会問題化にしながらの通常国会です。看護師の増員の確かな保障づくりの正念場になります。

各地の運動の教訓を生かして、さらにながらみましょう!

岡山県議会が変化「自民・共産が『協調』」 陳情が異例の全会派一致採択!

岡山県医労連は、昨年9月と12月議会に向けて「医師・看護師ふやせ」の議会請願を行い、28議会中24議会で採択されました。昨年7月の参議院で採択されていることから、足取り軽く全ての会派の議員控え室を訪問し趣旨説明を行いました。中には「共産党系の要請かな?・・・」と気乗りしない態度の議員さんに気落ちすることもありました。しかし、2008年の通常国会に間に合わせるためには、12月議会での採択が大きく影響するから県医労連執行委員会で意思統一し、役員や看護闘争委員が協力して議会訪問を行い、27の議会に提出することが出来ました。時間的な問題で共産党議員だけの紹介で請願した議会もありましたが、その議会においても採択されるなど、「医師・看護師ふやせ」が国民的世論になっていることが実感できる行動となりました。(不採択0、継続2、「資料配布」1)

とくに県議会では、地元新聞紙が「岡山県議会本会議で、共産党とかかわりの深い陳情2件に自民党も同調、ベテラン議員も“おそらく初めて”という異例の全会派一致で採択」と報道しているように、国民的世論を無視することができず、いったん9月議会では不採択としたものを、一部の手直しで採択するという結果を生みました。倉敷では公明党・共産党の連名で請願提出となりましたが、「倉敷がしているなら」と他の市議会へ影響を与え、これまで共産党議員が紹介になった請願は絶対に不採択になるといわれていた議会でも「採択」という結果を得ることができたのです。

議会が国民世論に大きく影響されています。こうした有利な状況を背景に2008年通常国会での法改正、診療報酬改善を実現させる絶好のチャンス到来といえます。08春闘で多めに奮闘しましょう。

知事に直接あって要請

一県と国にセットで署名一 **奈良県医労連**

奈良県医労連では、前回の増員署名に力を発揮できず、猛反省の結果、新署名は心機一転「猛ダッシュ」で奮闘しています。

国にむけての増員署名と知事宛の増員署名をセットにし、現在 9,238 筆集めました。自治体決議も、あと 1 自治体ですべての自治体で決議があがることとなります。06 年は 66 病院を、07 年は 66 病院と 6 看護学校を訪問し、深刻な実態把握と国や県に何ができるのか、私たちの国や県への要請内容について意見交換を行ってきました。昨年取り組んだ「看護師の労働・健康実態調査」では、県内の看護師の 1 割を集約し、県看護協会会長はじめ役員との懇談(2回)、看護学校との懇談を通じ、「再就業支援の県への要請書」をまとめ提出しました。

これらの運動が、奈良県内で世論になりながら、とうとう知事と直接面談し、署名と要請書を手渡すことができました。



ベスト3は全厚労 6 単組がベスト 10

トップは新潟厚生連労組で 24000 筆、2 位が秋田厚生連労組、3 位が長野厚生連労組と、全国の牽引車の役割を果たしています。新潟では、できるかぎりの手を尽くそうと、院内署名では職員と家族はもちろん、外来には役員が並んで署名の訴え、入院患者さんにも組合員が回って依頼、地域の労働組合にも訪問しお願いしました。町内会にお願いをした支部も生まれています。「新潟に続け」と、秋田でも院内署名に力をいれています。

全厚労本部専従 3 人で 750 筆

全国のがんばりに呼応して、全厚労の本部も書記長はじめ 3 人の専従で、本部を訪れる人や業者に残らず署名を預けています。

1 人で数百枚持ち帰り!

京都・桂病院労組

桂病院労組の Y さん(医労連看護闘争委員)は、すでに家族や看護学校の友人に署名を訴えるために署名を何百枚の持って帰っています。先日書記局を訪問し、署名を 100 枚持って帰りました。その署名は美容院に置いてもらうそうです。

現在、桂病院労組では、1 人 25 筆集めると「図書券」をプレゼントすることを検討しています。

病院長が署名に賛成 外来に署名コーナー

東京女子医大労組

病院長が「これはやらなければいけない署名ですね」と、署名に賛成の意を表し、外来の中央に署名台を設置を許可しました。署名は、外来患者さんの列ができるほど盛況で、現在、署名は 2700 筆を越えるなど、奮闘しています。